

イベント学会

2019 年度定時総会議案書

2020 年 6 月 8 日（月） 17:00～18:00

於：全国中小企業振興機関協会 会議室

審議事項

第 1 号議案 「2019 年度活動報告 および 事業決算（案）」 承認の件

第 2 号議案 「2020 年度活動計画 および 事業予算（案）」 承認の件

第 3 号議案 「理事・監事選任（案）」 承認の件

報告事項

1. 「入会希望者」 および 「退会希望者」 について
2. 「第 23 回研究大会 基本計画」 について
3. 「会則の変更」 について

第1号議案 2019年度活動報告(案) および決算書(案) 承認の件

(1) 活動カレンダー

2019年	
4月	第3代会長推戴委員会立ち上げ(～会員より推薦者を公募)
4月5日	国立演芸場夜席特別優待観賞(～2020年3月まで月1回実施)
4月16日	監事会
5月10日	第3代会長推戴委員会にて公募結果を精査
5月27日	臨時理事会にて第3代会長候補者を決定
6月8・9日	第13回全国スポーツクラブ会議2019 in TOKYOに出展(大田区)
6月10日	2019年度理事会・定時総会 第3代会長に中村利雄氏就任
6月22日	東日本地区本部主催/「幻の万国博覧会」映画観賞会(タイムドーム明石)
7月5日	「2019年度・ICOMOS世界総会・関西招致研究会」
7月16日	中部地区本部主催/第1回「大人のためのSDGs夜Café」開催
7月29日	「中村利雄新会長と語り合う、イベント学会の集い!!」(東海大学交友会館)
9月4日	台湾イベント発展協会の特別訪問ツアー実施
10月10日	東日本地区本部主催/「国立劇場10月歌舞伎・ご観劇特別プラン」
10月29日	「2019年度・ICOMOS世界総会・関西招致研究会」
11月6日	中部地区本部主催/第2回「大人のためのSDGs夜Café」開催
12月17日	第22回研究大会「ゴールデンスポーツイヤーズと次世代育成」(日本青年館ホテル)
2020年	
2月初旬	イベント学研究第3巻第1号配布
2月22日	東日本地区本部主催/水辺からオリパラ施設見学&浜松町・竹芝再開発地区見学 <中止>
2月25日	「2019年度・ICOMOS世界総会・関西招致研究会」
2月28日	中部地区本部主催/第3回「大人のためのSDGs夜Café」開催
3月16日	2019年度第2回理事会

(2) 決算報告

2019年度決算書

収入の部	科目名	19年度予算	19年度決算	差額	備考
	入会金収入	50,000	225,000	175,000	賛助会員50,000円×2、個人会員5,000円×25
	年会費収入 個人	1,400,000	1,522,000	112,000	会員177名一退会・不払い・死亡24名、返金8,000円
	年会費収入 準会員	6,000	3,000	-3,000	1名会費+1名後期入会
	年会費収入 自治体	0	0	0	
	年会費収入 法人会員	4,200,000	4,300,000	100,000	31社
	事業収入 研究大会	200,000	560,000	360,000	参加76名、情報交換会53名
	事業収入 研究会・交流サロン等	300,000	297,000	-3,000	
	受取利息	0	37	37	
	当期収入計	6,156,000	6,907,037	751,037	
	前期繰越	4,445,137	4,864,999	419,862	
	収入合計	10,601,137	11,772,036	1,170,899	
支出の部	科目名	19年度予算	19年度決算	差額	備考
	事業費 研究大会	1,500,000	1,980,204	480,204	
	事業費 広報事業	200,000	778,272	578,272	印刷費含む
	事業費 研究助成	0	0	0	
	事業費 研究会・交流会	1,800,000	310,556	-1,489,444	中部地区本部「夜cafe」3回、東日本地区本部「万博上映会」
	事業費 ジャーナル	600,000	0	-600,000	
	事業費 ウェブサイト改訂	1,000,000	0	-1,000,000	
	事業費 その他(予備費)	500,000	0	-500,000	
	事業費計	5,600,000	3,069,032	-2,530,968	
	給与・通勤費	1,500,000	2,082,739	582,739	事務局員2名分
	会議費	400,000	311,731	-88,269	
	旅費交通費	300,000	220,384	-79,616	都内交通費、出張費
	消耗品費	150,000	75,588	-74,412	
	通信運搬費	300,000	237,311	-62,689	サーバー代、インターネット接続、電話、郵送費
	印刷費	150,000	0	-150,000	
	賃借料	400,432	400,440	8	事務所費
	資料費	10,000	216,432	206,432	世界レジャー会議翻訳料
	謝金	30,000	0	-30,000	
	会場費	100,000	480,608	380,608	中村新会長の集い会場費
	支払手数料	102	2,689	2,587	
	雑費	150,000	126,286	-23,714	
	管理費計	3,490,534	4,154,208	663,674	
	当期支出計	9,090,534	7,223,240	-1,867,294	
	次期繰越差額	1,510,603	4,548,796	3,038,193	

(3) 具体的な活動内容

1) 第22回研究大会

・開催概要およびプログラム

- ① 日時：2019年12月17日（火）10:00～19:00
- ② 会場：日本青年館ホテル 8階会議室
テーマ：ゴールデンスポーツイヤーズと次世代育成
- ③ 主催：イベント学会
- ④ 共催：(一社)日本イベント産業振興会、(一社)日本イベント協会、
日本イベント業務管理士協会
- ⑤ 後援：スポーツ庁、東京都、(公財)日本オリンピック委員会（第一部）、
(公財)日本障がい者スポーツ協会、(独法)日本スポーツ振興センター
- ⑥ 協力：(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（第一部）、
(公財)ラグビーフットボール協会、
(公財)ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会

⑦ プログラム：

【第1部】シンポジウム「日本におけるスポーツと持続可能性 次世代にレガシーを継承するために今何が必要か」

メガスポーツイベントのレガシーを次世代に繋げる施策やアイデアを討議。

〈パネリスト〉

清宮克幸 氏（公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 副会長）

間野義之 氏（東京2020組織委員会参与 早稲田大学教授）

木下博夫 氏（ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会事務総長）

〈ファシリテーター〉

師岡文男（イベント学会理事 スポーツ庁参与 上智大学名誉教授）

〈司会進行〉

東明有美（イベント学会会員 元女子サッカー日本代表）

【エクスカージョン】JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE、新国立競技場周辺の見学
(事前申込み、参加費別途1,000円/弁当付き、先着15名限定)

【ポスター発表】

5題のポスター発表。

【第2部】ワークショップ「学生による次世代アイデアコンペティション」

上智大学、東海大学2グループ、広島経済大学の学部生・院生による“次世代”をテーマにしたアイデアコンペティションを実施し、優秀グループを表彰。

【第3部】研究発表

3ルームにて20題の口頭発表。(別途資料1ご参照)

【交流パーティ】 参加費別途5,000円)

- ⑧ 大会参加費：会員5,000円(共催/後援団体会員含む)、学生・大学院生：3,000円、
一般：7,000円
- ⑨ 開催実績：参加総数116名(内、学生ワークショップ関連17名、学生ボランティア
12名)

2) イベント学研究第3巻の発刊

- ・第3巻第1号を2月初旬に会員へ発送。国立国会図書館に納本。
- ・第3巻掲載予定だった原著論文1編(統計解析の誤りを修正後、次巻掲載予定)、研究資料2編(内1編は第1回査読済みで現在修正中)の投稿がある。

3) 主な交流事業

- ・台湾イベント発展協会の特別ツアー
- ・国立演芸場定席公演夜席観賞(月例) 等

4. 地区本部活動報告について

- ・東日本地区本部：福井副会長から活動カレンダーに記載された活動報告および「ICOMOS総会・関西招致研究会」・「東北復興博覧会研究会」が報告された。
- ・中部地区本部：原田伸介中部地区本部長から活動カレンダーに記載された活動報告がなされた。
- ・西日本地区本部(橋爪副会長/宮本倫明理事)

監査報告

イベント学会 会長 中村 利雄 様

監 査 報 告 書

イベント学会の2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）
事業報告書および計算書類は、適正かつ妥当であるものと認めます。

2020年5月19日
イベント学会

監事 原田 周平

原田周平



監事 穂苅 雄作

穂苅雄作



貸借対照表

貸借対照表

2020年3月31日 現在

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
現預金	4,548,796	4,864,999	-316,203
資産合計	4,548,796	4,864,999	
II. 負債の部			
繰越余剰金	4,548,796	4,864,999	-316,203
負債合計	4,548,796	4,864,999	
III. 正味財産内訳			
1. 正味財産増減の部			
当期正味財産増減額	-316,203	419,862	
正味財産期首残高	4,864,999	4,445,137	
正味財産期末残高	4,548,796	4,864,999	-316,203

口座残高

みずほ銀行

		普通預金	ORDINARY ACCOUNT	8
		お取引内容	お支払金額(円)	お預り金額(円)
20--3-30	振込		10,000	*2,887,304
20--3-31	振込		200,000	*3,087,304

ゆうちょ銀行

振替口座残高証明書

口座番号	00120-0-357450
------	----------------

加入者名	イベント学会
------	--------

令和 2年 3月31日現在の口座残高

*****1,461,492円

上記のとおり証明します。

令和 2年 4月 1日
ゆうちょ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

第2号議案 「2020年度活動計画（案）および予算（案）」承認の件

(1) 活動カレンダー

2020年	
4月6日	選挙委員会：役員改選（理事・監事）の投票作業準備
4月24日	選挙委員会：役員改選（理事・監事）の開票作業
5月13日	運営会議（公財）全国中小企業振興機関協会 会議室（中止）
6月8日	2019年度第3回理事会・総会（全国中小企業振興機関協会会議室）
6月8日	2020年度第1回理事会（全国中小企業振興機関協会会議室）
9月上旬	第1回顧問会議
10月初旬	第1回運営会議（全国中小企業振興機関協会 会議室＜予定＞）
11月7～8日	第23回研究大会（分散開催）／第2回理事会（オンライン会議）
2021年	
2月初旬	第2回運営会議（全国中小企業振興機関協会 会議室＜予定＞）
3月初旬	第3回理事会（全国中小企業振興機関協会 会議室＜予定＞）
4月初旬	第2回顧問会議
5月初旬	第3回運営会議（全国中小企業振興機関協会 会議室＜予定＞）
6月中旬	2020年度第4回理事会・総会（場所未定）

(2) 事業予算計画

■第23回イベント学会研究大会

11月7日・8日の2日間に3地区に分散して開催する（報告事項2.で説明）。

予算：150万円

■広報事業費

イベント学会を構成する賛助会員と個人会員との親睦・交流の場を設け、情報交換を通じて賛助会員の拡大と学会活動の活性化を進める。

予算：40万円（20万円×2回）

■交流サロン（地区本部主催の事業）

東日本地区、中部地区、西日本地区各本部において、学会員および賛助会員を対象とした勉強会、講演会、シンポジウムなど実施する。会員の交流と新規会員および新規賛助会員獲得につながる事業とし、具体的な内容に関しては新理事会で選任される地区本部長と協議の上進める。

予算：150万円（50万円×3地区本部）

■「ジャーナル」第4巻・第5巻合併号の発行

第4巻は堺屋前会長の追悼特集で構成。第5巻は研究論文で構成して2巻を合本して編集する。

予算：100万円

■顧問会議（年間2回の予定）の開催

学会活動の発展に貢献する人材を顧問に迎え、会長および副会長との意見交換等を行う。

予算：20万円（10万円×2回）

■運営会議（年間3回の予定）の開催

会長・副会長を中心として構成する執行機関は、定時理事会および研究大会の前に会議を開催する。通常は従来の対面式会議とするので、遠距離から参加する委員に対する交通費を計上する。また、オンライン会議の場合も想定して通信費を計上する。

予算：30万円（10万円×3回）

■研究助成

イベントロジーの学際的・学術的なレベルアップを目的として、オリジナリティの高い研究計画に対して一般会員50万円×1件、学生会員25万円×2件の研究助成を行う。新規会員獲得および若手人材の育成に寄与する。

予算：100万円

■ウェブサイト改訂

学会ホームページの全面的なリニューアルとサイトの管理者権限の自由度を高め、必要な情報を学会員へタイムリーに提供できるよう、ウェブサイトの機能向上を図る。

予算：50万円

◇2020年度予算計画

収入の部			
科目名	19年度決算	20年度予算	備考
入会金収入	225,000	100,000	新入会員(20名)
年会費収入 個人会員	1,522,000	1,720,000	滞納会員9名11万円
年会費収入 準会員	5,000	10,000	新入会員(5名)
年会費収入 賛助会員	4,300,000	4,000,000	28社(10万×19、20万×6、30万×3) 退会賛助会員3社
事業収入 研究大会	560,000	500,000	
事業収入 交流サロン等	295,000	100,000	サロン実施の参加費
受取利息	37	0	
当期収入計	6,907,037	6,430,000	
前期繰越金	4,864,999	4,864,999	
収入計	11,772,036	11,294,999	
支出の部			
科目名	19年度決算	20年度予算	備考
事業費 研究大会	1,980,204	1,500,000	3地区での分散開催
事業費 広報事業	778,272	400,000	交流・ワークショップ
事業費 交流サロン等	310,556	1,500,000	各地区本部事業50万円×3地区
事業費 ジャーナル発行	0	1,000,000	合併号の発刊
事業費 ウェブサイト改訂	0	500,000	HPリニューアル
事業費 研究助成	0	1,000,000	一般50万円×1件、学生25万円×2件
事業費 顧問会議・運営会議	0	500,000	顧問会議10万円×2回、運営会議10万円×3回
事業費計	3,069,032	6,400,000	
給与・通勤費	2,082,739	1,000,000	業務委託へ
会議費	311,731	400,000	
旅費交通費	220,384	400,000	理事会出席者への補助を含む
消耗品費	75,588	120,000	
通信運搬費	237,311	250,000	サーバー使用、インターネット接続、電話、郵送費
資料印刷費	0	160,000	
賃借料	400,440	400,440	
会場費	480,608	100,000	理事会、理事会総会
支払手数料	2,689	2,000	
予備費	126,286	210,000	雑費、会合参加など
管理費合計	3,937,776	3,042,440	
当期支出計	7,006,808	9,442,440	
収支差額	4,765,228	1,852,559	
次年度繰越金額	4,548,796	1,852,559	

第3号議案 「理事・監事選任（案）」承認の件

1. 新役員（選出10理事+推薦5理事+2監事）および地区代表（関東、中部、関西）の人选と役割分担。

①個人会員による理事選挙の理事候補者（上位10名、敬称略）

順位	有効得票	氏名	所属
1	72	福井 昌平	(株) コミュニケーション・デザインング研究所 代表
2	59	中村利雄	(公財) 全国中小企業振興機関協会 理事長
3	47	上代 圭子	東京国際大学 准教授
3	47	師岡 文男	上智大学 名誉教授
5	46	宮本 倫明	(株) L a n d a 代表
6	44	加藤 淑子	(株) エンコーポレーション 代表取締役社長
6	44	野川 春夫	順天堂大学大学院 特任教授
8	41	橋爪 紳也	大阪府立大学 研究推進機構
9	35	町田 誠	Sowing Works 代表
10	30	守屋慎一郎	スパイラル / (株) ワコールアートセンター

②会長推薦による理事候補者（5名以内、敬称略）

推薦理由：地区活動の活性化と今後の会員拡大への貢献が期待できる。

会員種類	氏名	所属
個人会員	岡星 竜美	目白大学特任教授
個人会員	谷 喜久郎	(株) 新東通信 代表取締役会長兼社長
個人会員	信時 正人	(株) エックス都市研究所理事
個人会員	萩 裕美子	東海大学 教授
個人会員	古澤 礼太	中部大学准教授（中部高等学術研究所）

③監事候補者（2名、敬称略）

推薦理由：イベント関連団体との連携強化および大所・高所からの俯瞰が期待できる。

会員種類	氏名	所属
個人会員	穂苅 雄作	(一社) 日本イベント産業振興協会 専務理事
個人会員	松平 輝夫	(一社) 日本イベント協会理事長

報告事項 1. 「入会希望者」および「退会希望者」について

退会希望者（個人会員）

会員名	退会理由
井上剛実	終活動の一環として退会を希望

報告事項 2. 「第 23 回研究大会 基本計画」変更について

本年 3 月 8 日の第 2 回理事会において第 23 回研究大会の基本計画が承認されたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、橋爪紳也実行委員長から代替案を含め、変更案を至急作成したい旨の申し出があった。そこで中村会長が副会長と協議して下記の変更案が出され、橋爪実行委員長も同意した。

変更案

- (1) コロナウイルス禍による、東京オリンピック・パラリンピックとドバイ万博の一年延期を受けて、大阪にて開催を計画していた 2020 年度研究大会は、2021 年度に延期。
- (2) 第 23 回研究大会は、開催予定の日程（11 月 7 日～8 日）を変えず、テレコミュニケーション技術も活用して、大阪・名古屋・東京の 3 地区で、分散会場ネットワーク方式で開催する。
- (3) 3 地区の分散開催とするが、1 日目のコアセッションはオンラインで行い、3 地区で情報を共有する。
- (4) テーマについては、『コロナ禍に対する危機対応と、ポスト・コロナ時代のイベントロジーの展望』（仮称）をベースとする。
- (5) 実行委員会は大阪・名古屋・東京の 3 地区で組成し、連携を図りながら推進する。

当初案（3 月 8 日理事会決定）

■開催概要

- ・日 時／2020 年 11 月 7 日（土）8 日（日）の 2 日間
- ・会 場／咲洲 ATC ホール内会議室（150 人収容の会議室ほか、合計 4 室を確保）

■テーマ

「いのち輝く未来社会とイベントデザイン
- SDGs、ソサイエティ 5.0、大阪・関西 -（仮）」

■実行委員会

- ・実行委員長：橋爪紳也
- ・実行委員：橋爪、宮本、間藤、伊東、田村、川井（以上、会員）
外部委員として経済産業省岩田氏などに参画を求める。
- ・実行委員会：株式会社マッシュに設置

報告事項 3. 「会則変更」承認の件

- ・提案理由：第 18 条の顧問についての会則は、顧問の所属および役割・方向性が漠然としているので、所属と役割をより明確にするために変更する。

旧	新
第18条 本学会に顧問を若干名おくことができる。	第18条 本学会の発展に貢献しうる外部の有識者を顧問として若干名置くことができる。
3. 顧問は、会長（代表理事）の諮問に応え、意見を述べることができる。	3. 顧問は、年に数回は会長・副会長らと意見交換をすることとする。

※第 18 条については審議の結果、

「本学会の発展に貢献しうる有識者を顧問として若干名おくことができる」で承認。